

【本リリースは、大阪商工記者会・青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ・関西レジャー記者クラブに
10月19日14時に資料提供しております】

 HOTEL GRANVIA OSAKA
NEWS RELEASE

株式会社ホテルグランヴィア大阪
〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目1番1号
TEL : 06-6344-1235 (代表)
FAX : 06-6347-1418
URL : <http://www.granvia-osaka.jp>

報道関係各位

平成23年10月19日
株式会社ホテルグランヴィア大阪

「新しい都心型ホテル」・「更なるブランド力向上」を目指して
ホテルグランヴィア大阪 客室フロア増床
平成24年4月17日(火)
「グランヴィアフロア」としてオープン
平成23年11月1日(火)10:00 予約受付開始

ホテルグランヴィア大阪（大阪市北区梅田3-1-1、代表取締役社長：五十嵐晃）は、このたび、大阪ステーションシティ・サウスゲートビルディング最上階27階をホテルフロアとして増床し、平成24年4月17日（火）、当ホテル最上級客室階となる「グランヴィアフロア」をオープンいたします。また、このフロアのご予約を平成23年11月1日（火）10:00より開始いたしますのでお知らせいたします。



ホテルグランヴィア大阪 27階「グランヴィアツイン」

現在当ホテルは、大阪ステーションシティ・サウスゲートビルディングの21～26階・全648室を客室として展開しております。このたび、ビル運営会社が展開するレストランフロアであった最上階27階部分をホテル客室として増床し、平成24年4月17日（火）、ツイン及びダブルルーム全68室及びフロア専用ラウンジで構成する、当ホテル最上級の「グランヴィアフロア」を新たにオープンいたします。



当ホテルが直結する大阪駅周辺は、「大阪ステーションシティ」開業や大阪駅北地区プロジェクトといった開発による都市機能の集積により、今後より一層、関西の中心地としてのポテンシャルが向上して参ります。また、こうした地域開発に加え交通インフラの充実やオフィス需要の拡大によって、大阪駅周辺にはビジネス、レジャーを問わず幅広い層の集客が見込まれております。

また、当ホテルにおいては開業以来約30年にわたって、アクセスの良さやこれまで培ってきたホスピタリティ、テーマ性のある部屋の改装などにより多くのお客様のご利用をいただいて参りましたが、よりラグジュアリー感のある内装や設備・機能を求められるお客様層からのご要望など、多様化するニーズへの対応を近年の課題として検討して参りました。

こうしたエリアの変化や集客動向、多彩なお客様ニーズに対応するため、当ホテルはこのたび、標準的客室で構成する21～23階の「スタンダードフロア」、高感度のお客様に向けてフロアごと異なるテーマを持たせた24～26階「コンセプトフロア」の既存階に加え、ビル最上階の27階に高品質の客室フロアを増床することとしたものです。

この施策によりスタンダードから高品質まで幅広いカテゴリーの客室が揃うこととなり、当ホテルは、あらゆる顧客層のご利用シーンに対応する「新しい都心型ホテル像」を目指し、地域の中心にあるホテルとして様々なお客様のニーズにお応えして参ります。

同時に、高品質のフロア新設によって、当ホテルは更に「高単価・高稼働」型へと競争力を強化するとともに、新たなターゲット層獲得による顧客拡大を図って参ります。また、当ホテルの大阪エリアにおけるポジショニング向上を図ることで、JR西日本ホテルズ全体のブランド力向上に寄与して参りたいと考えております。



新たに誕生する27階「グランヴィアフロア」は、「日常から解き放たれた、駅ウエのプライベート・ラグジュアリー」をコンセプトテーマに、ハイエンドビジネスパーソン及び海外富裕層をメインターゲットに、熟年・レジャー層及び女性層を意識したフロアといたしました。駅に直結したアクセスでありながらゆとりや癒しを提案する、機能性と安らぎを兼ね備えた空間としております。

多くの客室では、既存フロアにはない約2m四方もの大きな窓から広がる眺望をお楽しみいただけるほか、遮音性の向上による「静かな室内空間」やフロア全体における「公衆無線LAN」（※）配備、専用キーでの「フロアセキュリティシステム」導入など、快適にお過ごしいただける機能の充実を図っております。

また、理想の寝姿勢をサポートしてくれる「シーリー」社のベッドや、素材・硬さといったマットレスを形成する要素に独自技術を持つ「シモンズ」社のベッドを採用し、心地よい睡眠をお届けします。更に、浴室音響システムを備えたバスルームには、体を包み込んでくれるレインシャワーや洗い場も設け、快適性と共にリラクゼーションも感じていただける、安らぎの空間を提案しております。

また、「石」や「土」「鉄」「ガラス」など素材を活かしたアートを随所に配し、フロア全体において美術館のように作品を鑑賞できる非日常の空間を演出いたします。人工的なものでなくあえて各素材が持つ風合いを活かした作品を配し、アートそのものが持つ『素材感』を感じていただくことで、より一層の癒しや寛ぎをご提案したいと考えております。

※公衆無線LANについては、(株)ワイヤ・アンド・ワイヤレス様のご協力のもと、本年10月、より快適にインターネットを利用いただける環境づくりの一環としてホテル館内に無線LANアンテナを設置いたしました。現在、20階ホテル宴会場の一部を除くフロアで、無料ご利用が可能となっております。
来年4月には、27階客室フロアオープンと合わせ、ホテル館内全エリアにおいて無料公衆無線LANがご利用いただけることとなります



客室中26㎡以上の46室は、メインターゲットであるハイエンドビジネスパーソンに加え、熟年・レジャー層を意識したタイプといたしました。

ハイエンドビジネスパーソンに向けては、座る人の体型や動きに適応し腰や骨盤をサポートするなど人間工学に基づいて製作されたアメリカ「Herman Miller (ハーマン・ミラー)」社のワークチェアに加え、約2mの天板とした「大型のワークデスク」やレンタル可能な「タブレット型端末」、創業80年の老舗メーカーイギリス「CORBY (コルビー) 社のズボンプレスナー」などをご用意し、ビジネスをサポートする機能を充実させております。

その他、足元から広がる大きな「約2m四方の窓」からは、最上階ならではの開放感を感じていただけるほか、客室部分には、テレビやiPodなどからの音楽をお楽しみいただけるBOSE社の「天井スピーカー」を配しています。また、バスルームには、たっぷりと空気を含んだお湯がやさしく体を包み込んでくれる「大型レインシャワー」や、一部客室には浴槽側面から10色もの光が差し込み、水の色が変化しているような幻想的な光浴をお楽しみいただける「水中照明」を配備するなど、ビジネスシーンはもちろん、熟年・レジャー層の方にも対応する寛ぎの機能を設けました。

また、このタイプでは、お客様のご利用シーンに応じてお選びいただけるよう趣きの異なる2種のお部屋を設定いたしました。

組積風に積み上げた「石」素材によって堂々とした邸宅風の雰囲気醸し出した、フロア最大面積となる37～39㎡の部屋のほか、美しい光沢のあるウォールナットの「木」を壁一面に配し、厚みの異なる木材がおりなす重層感を室内のアクセントとした26㎡～30㎡の客室をご用意しております。それぞれ、重厚感を感じる「グレー×黒」、木目が印象的な「濃茶×グレー」を基調としており、共に落ち着きのある寛ぎ空間を表現しております。

その他、21㎡～のダブルルームにおいては、ハイエンドビジネスパーソンに加え、女性層も意識したつくりといたしました。「グレー×ベージュ」をテーマカラーとし、「天然石」を使った“ジュエリ

ーアート”や柔らかなフォルムの照明などを採用した、女性を意識したインテリアとなっています。壁面は、土を重ねたような濃淡の変化が味わえるアンティコスタッコ風（イタリアン漆喰）に仕上げられており、この部屋においても素材の風合いを感じる安らぎの空間としております。

また、バスルームにおいてもターゲット層の女性に向け、清潔感のある白でまとめた明るい空間といたしました。丸みのあるかわいらしい印象で、体を包み込むような深みのある「置き型風のバスタブ」を採用しており、ゆっくりとリラックスできるバスタイムをご提案いたします。

また、フロアラウンジでは、コピー・FAX、タブレット型端末やパソコンといったレンタルなどを行うビジネスサポートやフロアご利用のお客様のチェックアウトサービスを行うほか、コーヒーやジュース、焼き菓子類をご用意するサービスコーナーやライブラリーコーナーを設けております。

更に、ラウンジ奥のスペースには、パソコンと接続できるディスプレイを設置した小ミーティングも可能な個室スペースを配し、ビジネスシーンにも対応したものとなっております。

「グランヴィアフロア」に関する詳細は次ページの通りです。



1. 増床面積 2, 875㎡（営業面積）
2. 増床室数 68室（ツインルーム29室／ダブルルーム39室）※全室禁煙となります
3. フロア宿泊可能人数 151名
4. 部屋タイプ及び料金（1室あたりの料金、税金・サービス料込）

部屋タイプ	室数	面積(㎡)	料金	
			平・休日	休前日
グランヴィアフロア ハーモニーダブル	6	22～	28,875	31,185
グランヴィアフロア プラシードダブル	16	23	31,185	33,495
グランヴィアフロア モデレートダブル	13	26	42,735	45,045
グランヴィアフロア モデレートツイン	7	31	48,510	50,820
グランヴィアフロア スーペリアダブル	4	30	48,510	50,820
グランヴィアフロア スーペリアツイン	3	37	54,285	56,595
グランヴィアフロア コンフォートツイン	4	37	57,750	60,060
グランヴィアフロア グランヴィアツイン	15	39	57,750	60,060

5. 主要設備 公衆無線LAN配備（27階フロア全体）
専用キーによるセキュリティシステム
フロア専用ラウンジ
6. ラウンジ 席数：30席（内、個室スペース6席）
営業時間：7：00～20：00
サービス内容：ビジネスサポート（コピー・FAX、レンタルパソコン等）
ドリンクコーナー（コーヒーやジュース、焼き菓子類）
ライブラリーコーナー
チェックアウトサービス
7. 設 計 安井・ジェイアール西日本コンサルタンツ設計共同体
8. 総事業費 10.5億円

9. 売上目標 約4億円

10. 宿泊予約受付 平成23年11月1日(火) 10:00より開始
06-6345-1261 (宿泊予約係)にて承ります。



グランヴィアツイン



モデレートダブル



プラシードダブル

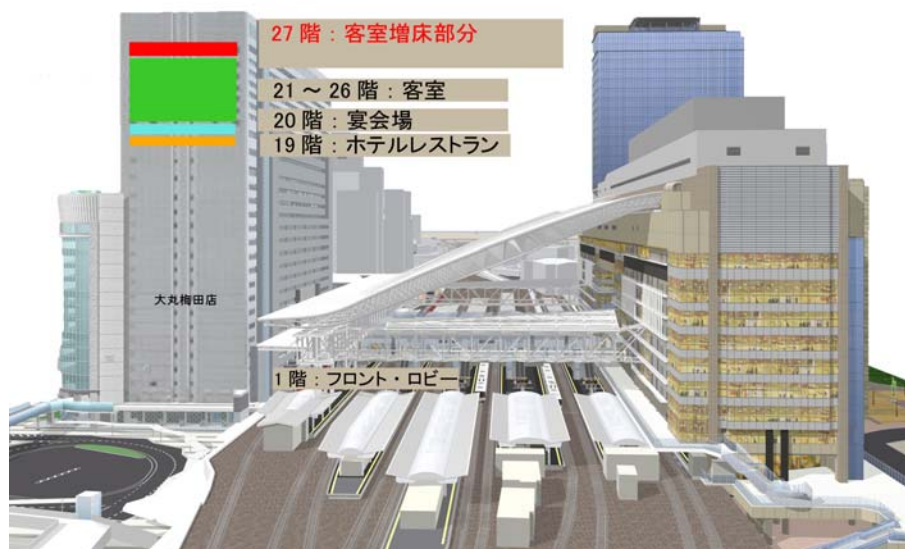


フロア専用ラウンジ

(ご参考)

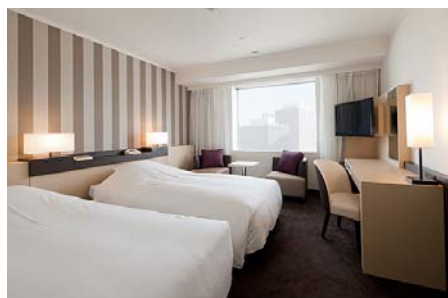
■大阪ステーションシティ全体

大阪ステーションシティ
サウスゲートビルディング ノースゲートビルディング



■ ホテルグランヴィア大阪 客室構成

階数	フロアカテゴリー/名称	改装時期	コンセプト	ターゲット
27階	グランヴィアフロア	平成24年 4月17日	「日常から解放された、駅ウエのプライベート・ラグジュアリー」	ハイエンドビジネスパーソン・海外富裕層 熟年・レジャー層 女性層
26階	コンセプト フロア	「憩 (いこい)」	平成21年 7月 京都市立芸術大学とのコラボレーションにより、様々なモダンアートを室内に展示。その他、ペットボトルを主原料としたタペストリーアートや、間伐材を組み合わせたオリジナルスツールなどを配備。	ビジネスパーソン レジャー層
25階		「なごみ」	平成20年 7月 「なごみ」をテーマに、落ち着いた寛ぎの空間を提案 木目調の濃茶をテーマカラーに、リラックスチェアのほか「池田炭」や「梅」を使ったお茶、“水の都大阪”にちなんだ「ファブリックアート」など地元ならではのアメニティをご用意	ビジネスパーソン アクティブなシニア層
24階		「Freja (フレイア)」	平成19年 6月 「北欧」をテーマにした癒しと寛ぎの空間を提案 「北欧インテリア」や「寝室環境システム」などを導入	ビジネスパーソン アクティブな女性層
21～ 23階	スタンダードフロア			グループ・ファミリー ビジネスパーソン



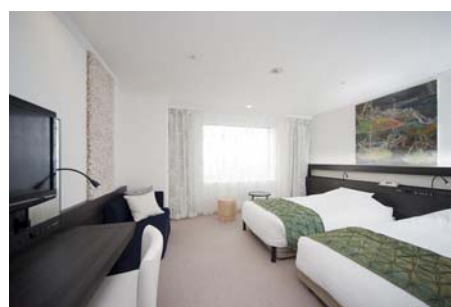
21～23階 スタンダードフロア



24階「Freja(フレイア)」



25階「なごみ」



26階「憩(いこい)」

■ ホテルグランヴィア大阪 概要（平成23年10月現在）

法人名	株式会社ホテルグランヴィア大阪
所在地	〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目1番1号 JR大阪駅直結（大阪ステーションシティ サウスゲートビルディング内）
開業年月日	昭和58年5月1日
資本金	22億円
延べ床面積	29,897 m ²
建物規模	地上27階、地下4階（ホテル部分）地下3階、1階、19～26階
客室数	シングル369室、ツイン181室、ダブル78室、その他20室 合計648室
宴会場	大宴会場2室（名庭、鳳凰）・中宴会場3室（孔雀、鶴寿、桐）・ 小宴会場6室（クリスタルルーム、桜、梅、蘭、葵、楓）
レストラン	カフェレストラン、ラウンジ、バー、鉄板焼、フレンチ&イタリアン、 パブレストラン、酒房、日本料理、中国料理 全10店舗
株主	株式会社ジェイアール西日本ホテル開発、株式会社ジェイティービー、 関西電力株式会社、大阪ガス株式会社、パナソニック株式会社、 株式会社三井住友銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行
グループ	【JR西日本ホテルズ】 ホテルグランヴィア京都、ホテルグランヴィア岡山 ホテルグランヴィア和歌山、ホテルグランヴィア広島 奈良ホテル、三宮ターミナルホテル、ホテル「ホップイン」アミッシング



ホテルグランヴィア大阪 外観



大阪ステーションシティ全景
（中央が大阪ステーションシティ・サウスゲートビルディング
ホテルグランヴィア大阪・大丸梅田店入居）

この件に関するお問い合わせ先
 〒530-0001 大阪市北区梅田3-1-1
 株式会社ホテルグランヴィア大阪 営業企画部
 広報担当 / 高田佳江
 TEL: 06-6347-1432 FAX: 06-6347-1418
 E-mail: k_takata@hgo.co.jp